



いぼりの里だより

月刊—第235号

2026年

9月号

社会福祉法人回精福祉会

- ・いぼりの里（生活介護/就労継続支援B型）
- ・ワークいぼりの里（生活介護/就労継続支援B型）
- ・フレンドいぼりの里（生活介護/就労継続支援B型/就労移行支援）

※ホームページは ➡ Google「いぼりの里」で検索

Instagramは ➡ ホームページから「iborinosato2」で閲覧

・地域活動支援センターいぼりの里

・日中一時支援事業いぼりの里

・グループホームいぼりの里

・障害者相談事業所いぼりの里

一般相談と計画相談受けたまわります



7月28日に最大震度7を観測した「令和8年熊本地震」から、8月28日で1か月。被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。また、8月13日夕方から14日未明にかけて、千葉県内で線状降水帯が相次いで発生し記録的な大雨となりました。気象庁は千葉県内の22市町にレベル5大雨特別警報を、6市にレベル5土砂災害特別警報を発表しました。この大雨により複数の方の死亡が確認されているほか、各地で崖崩れや浸水・冠水も相次ぎました。令和8年8月千葉豪雨で被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。愛知県においてもいつ発生するかわからない地震や大雨に備えて、災害発生時の避難時の行動を確認したほうがよいですね。いぼりの里でも9月に、地震想定防災訓練を実施しますのでよろしくお願い申し上げます。

さて、先月に引き続き今月も「愛知県相談従事者現任研修」の内容を掲載します。7月の1回目は、利用者さまの「意思決定支援」がメインテーマでしたが、8月の2回目は、「チームアプローチ」を1日かけて学びました。障害者支援における「チームアプローチ」とは、多様な専門職が連携・協働し、利用者やその家族を中心とした包括的な支援やケアを提供する手法です。単一の職種では対応しきれない複雑な課題に対し、多角的な視点からアプローチします。情報共有により支援の漏れや重複を防ぎ、スタッフ間で困難やノウハウを共有できます。利用者の生活全般を支え、尊厳を守りながらQOL（生活の質）の向上を促します。実践のポイントは水平的な関係でお互いの専門性を対等な立場で尊重し合いアセスメントを統合し、チーム全員で一貫した支援目標を共有して会議や情報共有を通じて進捗を確認し、柔軟に計画を立てます。また、いぼりの里の相談事業の上位機関としては、稲沢市社会福祉協議会に「障がい基幹型相談支援センター」があり、相談・助言がもらえる仕組みになっています。ご安心ください。

最後に、おかげさまでいぼりの里は今年の9月21日で20年になります。利用者みなさま、ご家族さま、地域・関係機関みなさまに心より感謝申し上げます。記念事業として利用者さまに喜んでいただきたく『レゴランド・ジャパン』へご招待を企画しました。楽しみながらさまざまな体験をしていただき、みなさまにとって記憶に残る一日となればと思っております。今後ともご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。『レゴランド・ジャパン』の詳細については、後日ご案内させていただきます。楽しみにお待ちください。

令和8年9月1日 障害者相談事業所（理事） 上條 正木

〈8月25日(火) お楽しみ献立(選択食)について〉

お楽しみ献立で、カレーライスのトッピングで「トンカツ」又は「エビフライ」の選択食を実施しました。「トンカツ」か「エビフライ」のみなさんの選択は半分ずつでした。今後も利用者さまが楽しんで昼食を食べていただけるような献立を企画していきます。よろしくお願いします。

〈個別支援計画の家族面談について〉

個別支援計画の家族面談を9月から始めます。9月がグループホーム、いぼりの里10月がフレンド、11月がワークといぼりの順です。ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

〔献立〕 カレーライス・ツナサラダ・フルーツポンチ

